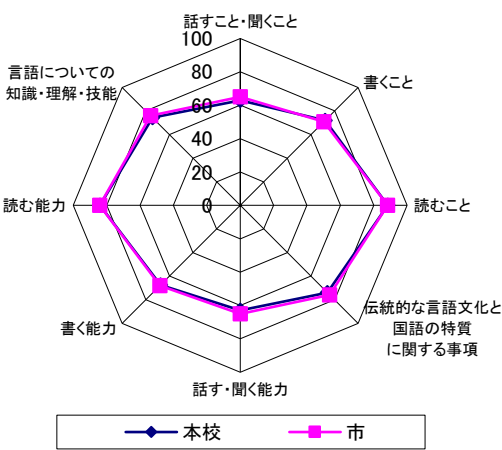


宇都宮市立陽南小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	62.9	65.0	62.9
	書くこと	72.0	70.9	71.3
	読むこと	88.4	88.4	87.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.0	75.8	75.3
観点別	話す・聞く能力	62.9	65.0	62.9
	書く能力	67.6	68.0	68.0
	読む能力	84.0	84.2	82.8
	言語についての知識・理解・技能	74.3	75.9	75.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

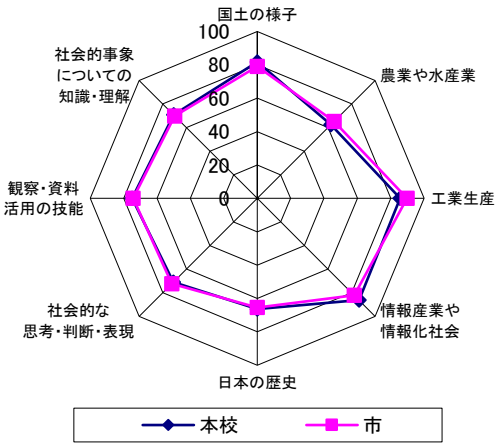
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し手の意図を考えながら話し合いの内容を聞くことは88.8%と市よりも4.8ポイント高かった。 ●正答率は62.9%と市よりも2.1ポイント低い。司会者の役割を理解して計画的に話し合おうすることは15.0%と、市よりも8.2ポイント低かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・計画的な話し合い活動を通して、話し合うための情報や議題を学級もしくは学年で共有し、整理する場を設けることで、児童がテーマに沿った話し合いができるように支援していきたい。また、朝の会や学級活動を活用し、誰もが司会者を経験する機会を設け、相手の発言に真剣に耳を傾けたり、正しい情報を聞き取ったりできる力を高めていきたい。
書くこと	○正答率は72.0%と市よりも1.1ポイント高い。指定された長さで文章を書くことは、81.3%と、市よりも7ポイント高かった。 ●資料の内容を読み取って文章に適切に書き表すことは、市の正答率が51.4%に対し、本校は44.4%と市よりも7ポイント低かった。	・国語の授業だけでなく、学校行事終了時の振り返りをする際に、作文等の書く課題を設定し、自分の思いや気持ちを文章で書く力をつけていきたい。また、他教科とも関連させ、資料から読み取った内容を適切に書き表すことにも慣れさせていきたい。
読むこと	○正答率は88.4%と市の正答率と同じだった。文章の内容を読み取ることは93.8%と、市よりも3ポイント高かった。 ○登場人物の心情を読み取る問題では、すべての項目で市の平均より高かった。 ●物語の内容を読み取る問題では、目的や必要に応じて場面の描写と登場人物の心情を読み取る設問で、市の平均より6.2ポイント低かった。	・物語では、場面の描写と登場人物の心情とのつながりを意識させ、叙述に即した読み取りを指導していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字を読む問題では、第6学年配当漢字の正答率が98.8%と市よりも2.6ポイント高かった。 ●正答率は74.0%と市よりも1.8ポイント低い。特に第5学年配当漢字を書くことでは、4問中3問の設問が市の正答率より低かった。	・習う字数が増加した中学年の漢字の習得に課題が見られるため、漢字ドリルやミニテストなど反復練習をすることで定着を図るとともに、読書をさらに推奨し、普段から文字への関心も高めていけるよう支援していく。

宇都宮市立陽南小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	81.8	79.1	74.9
	農業や水産業	62.5	65.1	63.7
	工業生産	85.6	89.7	86.2
	情報産業や情報化社会	86.3	82.2	73.1
	日本の歴史	66.3	65.4	65.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	71.0	72.2	69.0
	観察・資料活用技能	74.9	74.3	69.2
	社会的事象についての知識・理解	70.8	69.9	69.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

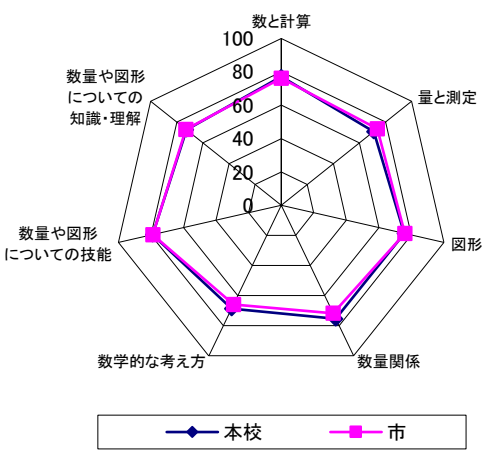
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○全体の平均正答率は81.8%と、市の平均よりも2.7ポイント高かった。特に日本の周辺の海洋名についての設問では、市の正答率より9.5ポイント高かった。 ●主な国の名称と位置についての設問では、市の正答率より2.7ポイント低かった。	・既習の知識を定着させるために、地図帳を活用しながら主な国の名称と位置について押さえるようにする。
農業や水産業	○食料自給率と食糧輸入額の関係について、複数の資料を読み取る設問では、市の正答率より1.4ポイント高かった。 ●米作りの作業工程と作業を行う季節についての設問では、市の正答率より5.5ポイント低かった。	・米作りの作業工程と作業を行う季節についての理解に課題が残る。稲作の工夫や従事している人々について、資料からの読み取りの時間を十分に取し、自分の言葉でまとめられるようにしたり、学級で共有したりするなどして、米作りについてより身近に学べるようにしていきたい。
工業生産	●全体の平均正答率は85.6%で市の正答率より4.1ポイント低かった。	・工業製品の分類に課題が見られるため、普段の生活の中に使われている工業製品より関心を持たせ、工業製品と自分の暮らしが密接に関わっていることや、地域によってつくる工業製品に違いがあることを資料を活用し丁寧に読み取らせていきたい。
情報産業や情報化社会	○全体の平均正答率は81.8%と、市の平均よりも2.7ポイント高かった。マスメディアの種類についての設問や、医療での情報ネットワークの利便性について、資料を読み取り考える設問では、いずれも市の正答率を上回った。	・インターネットは児童にとって身近な情報収集手段である。そのことも踏まえ、インターネットといった情報メディアを使う際のメリット・デメリットを正しく伝え、さらにより良い使い方ができるように継続して指導していきたい。
日本の歴史	○全体の平均正答率は66.3%と市の平均よりも0.9ポイント高かった。農耕が始まったころの人々の生活や社会の様子についての設問では、いずれも市の正答率より高かった。 ●鎖国について、資料を読み取り考える設問では、市の正答率より11.8ポイント低かった。	・時代による政治の仕組みを理解するために、絵や写真といった掲示資料を常置することで、歴史への関心を持続・向上させていきたい。 ・また、単元終了時に、学んだことを整理する課題をつくることで、児童自身が歴史上の出来事やその関連性を整理し、知識等の定着を図る支援をしていきたい。

宇都宮市立陽南小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	77.2	76.2	72.9
	量と測定	70.9	73.6	70.6
	図形	75.6	76.0	72.1
	数量関係	75.4	71.8	66.9
観点別	数学的な考え方	68.6	65.9	58.0
	数量や図形□についての技能	79.0	78.9	76.2
	数量や図形□についての知識・理解	72.6	73.1	70.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

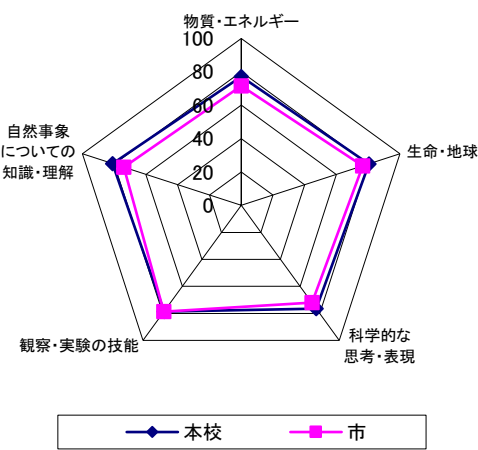
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○平均正答率は77.2%で市の平均より1ポイント高く、また他の領域よりも高くなっており、概ね身に付いていると言える。 ○小数の除法の文章問題を表した図を選ぶ問題では市平均より7.5ポイント高く、図を用いて題意を把握し解決する力が身についてきていると言える。 ●小数×小数の計算の正答率が市平均より9.3ポイント低く、積の小数点の付け方などに課題が見られる。	・習熟度別学習や個別学習を進めるとともに、パワーアップタイムなども活用しながら、計算問題を徹底させていく。 ・特に小数のかけ算の、積の小数点の付け方などを再確認し、徹底を図っていく。
量と測定	○速さをもとに、ある道のりを移動するのにかかる時間を求める式を選ぶ問題では、正答率が市平均より4.9ポイント高かった。 ●平均正答率は70.9%で市の平均より2.7ポイント低かった。特に、教室の1㎡あたり的人数を求める問題の正答率は30%を下回り、課題が見られる。	・単位量当たりの大きさや速さなどの文章問題などに積極的に取り組み、技能や思考力の育成に努めていく。 ・面積や体積を求める公式を再確認し、底辺と高さの関係などに注意しながら適切に活用できるように徹底を図っていく。
図形	○平均正答率は75.6%で市の平均とほぼ同じで、概ね身に付いていると言える。 ○特に3辺の長さを使って、合同な三角形を作図する問題の正答率は97.5%で、市平均より3.6ポイント高かった。 ●平行四辺形について線対称か点对称かを正しく説明した文章を選ぶ問題では、正答率が67.5%で、市平均より2ポイント低く課題が見られる。	・線対称・点对称の定義や対称の軸の見つけ方、対称な形の描き方などを再確認し、徹底を図っていく。
数量関係	○平均正答率は75.4%で、市平均より3.6ポイント高く、概ね身に付いていると言える。 ○2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題の正答率は90.0%で、市平均より7.6ポイント高かった。 ●帯グラフから割合を読み取り比較量を求める問題の正答率は71.3%で、市平均より1.7ポイント低く、課題が見られる。	・比例・反比例・文字式などについては概ね身に付いているので、引き続き定着を図っていききたい。 ・帯グラフや円グラフから割合を読み取ったり、比較量を求めたりする方法を再確認し、徹底を図っていく。

宇都宮市立陽南小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	77.2	71.6	67.4
	生命・地球	80.4	76.6	75.5
観点別	科学的な思考・表現	76.6	72.1	68.8
	観察・実験の技能	78.7	78.7	76.3
	自然事象についての知識・理解	81.0	73.9	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○平均正答率は市の平均より7.3ポイント高かった。 ○ふりこのきまりと水よう液の性質では、すべての設問で市の平均より高かった。 ●物のとけかたでは、各設問の正答率が60%台と低い内容もあり、実験に対する技能や思考力に課題が見られた。	・実験の方法や目的、その時に使う器具等の名前をもう一度確認する必要がある。 ・実験の際には、どのようなことを調べるのか、そのためにどのように実験すればよいのかを良く意識させるようにしたい。
生命・地球	○平均正答率は市の平均より5.8ポイント高かった。 ○動物のからだのつくりとはたらきのすべての設問では、市と全国の平均より高かった。 ●植物のつくりとはたらきについて考える問題では、市の平均よりやや低いなど、課題が見られる。	・自然事象に目を向けさせたり生活に関連付けて事例を挙げたりすることで、知識や思考力が深まるようにする。 ・植物や動物などに興味をもつように、自然と触れ合う機会をなるべく多く設けるようにする。

宇都宮市立陽南小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
基本的な学習習慣を身に付ける工夫	「陽南授業のきまり」を設定し、基本的な学習習慣を身に付け、集中して学習に取り組む態度を養う。	学年で差はあるが、「授業の始まりは席につく」「先生から指されたら返事をする」「先生の話最後まできちんと聞く」などの基本的な生活習慣については、肯定割合が90%を超えている項目が多い。
主体的に学ぶ態度を養うための授業形態の工夫	授業でペアやグループ活動を取り入れ、学び合いながら、自分の考えを広げられるようにする。特に学校課題に合わせ、本を活用した調べ学習や学び合いを取り入れていく。	「グループでの話合いに進んで参加していること」については、学年で差があり、授業中の話合い活動については、改善が必要である。「本を利用して学習に関する情報を得ること」(3～6年)に関しては、3つの学年で市の肯定割合を上回っている。家庭での読書時間も市の肯定割合より10分程度長い傾向がある。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・6年の「全国学力・学習状況調査」および「学習内容定着度調査」の結果においては、全国または市の平均を上回っているかほぼ同じくらいの結果となり、基本的な学習内容については、身に付いていると言える。これらは、「陽南授業のきまり」を徹底し、落ち着いた授業態度で、授業に臨ませたり、少人数指導を効果的に行った結果だと言える。来年度も引き続き、基本的な学習習慣を身に付けさせ、肯定割合が低かった学年でも落ち着いて授業に臨めるように学校全体で意識付けを図っていく。
- ・家庭学習に関する項目の質問（毎日、宿題を行う、授業の復習をするなど）の肯定割合が市の肯定割合より低い傾向にある。家庭学習のしおりの配付や保護者会での啓蒙、または、児童への家庭学習や自主学習の指導を徹底し、家庭の協力を得ながら、指導する。平日の読書時間については、市の肯定割合より高い傾向があるので、引き続き家庭での家読についても、呼びかけをしていく。